

週刊

# こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎(752)0453 植田 進 ☎(487)9754  
いはら 忠 ☎(488)7207

発行  
日本共産党  
八千代市議会議員団  
八千代市大和田新田  
312-5  
☎(483)1151

## 5億4千万円の加入者負担は許せない

3月議会に、国民健康保険料の大幅値上げ（総額6億9千万円）が上程されましたが、このような大幅な値上げは認められない、国からの保険者支援金を活用すれば、減額できるのではなどの意見が出され、全会一致で否決されました。このままでは、国民健康保険事業が4月から運営できません。市当局は、3月30日臨時議会を開催し、3月議会の提案（6億9千万円加入者負担）より1億5千万円引き下げた提案がされました。

今回の国民健康保険料の値上げは、医療費の増額分ではなく、後期高齢者支援分、介護支援分で国から求められている負担を支払う財源が無いために、保険料の値上げを行うとものです。

今回の提案では、1億円は国からの交付金、5千万円は基金からの取り崩しにするとしています。（結果は後日報告）

3月議会の提案より1億5千万円引き下げたことにより負担増は下がりましたが、現在の保険料から比べたら、大幅な値上げとなることは変わりありません。

5億4千万円の加入者負担とした場合（現在の保険料より）

- \* 20代夫婦（子1）、65歳以上は10%前後の値上げ増
- \* 40代夫婦（子2）15%前後の値上げ増

となる試算が出されてました。



## 各地で新年度予算の保険者支援金で保険料の引き下げが

国民皆保険の最後のとりでといわれる国民健康保険。高すぎる保険料が全国的に大問題となっています。市町村は財政的に一般会計から繰り入れを行わなければ維持できない状況です。

政府は国保財政の安定化として2015年度から保険者支援制度を拡充するとして消費税増収分から1700億円積み増すことにしています。（八千代市に約1億円・・・上記の分です）

しかしこの間、各自治体では保険者支援を見込んだ保険料引き下げが実現しています。京都市ではこの支援金などで9割の世帯を対象に一人当たり2,532円の引き下げが実現しています。

高すぎて払えない国民健康保険料のために、滞納せざるを得ない世帯が15%～20%にもなるというのは、異常な事態と言わざるを得ません。社会保障として位置づけられている国民健康保険が、いつでも、どこでも安心して払えるようにするために日本共産党は、これからも全力でがんばります。